

# 東海聖書神学塾 2021年度 塾生募集

## 新年度から

## 「オンライン受講」をする塾生を受け入れます！

東海聖書神学塾が1985年にスタートしてから今迄、距離的理由（住居や職場が遠隔地等）、身体的理由（障碍、高齢等）、家庭的理由（乳幼児や要介護家族等）で、（名古屋市金山の塾舎への）通塾が困難なために主イエス・キリストの教会の奉仕者となるための学びと訓練を神学塾で受けることができなかつた多くの方々がおられます。そこで神学塾は、創塾35周年の来年度から、通塾しなくても、自宅（または所属教会の会堂等）で神学塾のチャペルに参加しクラスを受講して頂ける「オンライン受講生」を受け入れることにしました。上記の理由で、今まで神学塾で学べなかつた人は、ぜひこの機会に、牧師先生と相談し、教会役員会の承認を得て塾へ願書をお送りください。また、同様の理由で今まで献身者を神学塾へ推薦されて来なかつた教会も、ぜひ来年度から、教会と共に教会奉仕者を育成する東海聖書神学塾へ、献身者をお送りください。  
\* オンライン受講に必要な物（カメラとマイク付きパソコンかタブレットかスマホ）、利用するアプリやオンライン受講の仕方等の説明書は入塾願書と共にお送りします。

- 私は主が言われる声を聞いた。『だれを、わたしは遣わそう。だれが、われわれのために行くだろうか。』私は言った。『ここに私がおります。私を遣わしてください。』」（イザヤ書6章8節）

世界人類の救いの神は、世界と日本での福音宣教と教会形成のための働き人を求めておられます。三位一体の神の教会の奉仕者になりたい人は、ぜひ神学塾へ来てください。同じ教会の人やお知りあいの人等で、教会での奉仕への献身を考えておられる方がありましたら、ぜひ、当塾への入塾をお勧めくださいますようお願い致します。

- 将来、牧師や宣教師等としての奉仕を希望する人は「教職志願者コース」へ、信徒として教会に仕えようと願う人は、「信徒奉仕者コース」または「ベーシックコース」へ、牧師・宣教師夫人は「牧師夫人講座」、牧師として奉仕している人は「アドヴァンスコース」へ、願書を提出して下さい。

### ●東海聖書神学塾のコースは以下の5つです。

- 教職志願者コース [牧師・宣教師等に召された人のため/週2、3日の学びで5年程]
  - 信徒奉仕者コース [信徒牧会者・信徒伝道者等のため/\*週2日、昼または夜だけの学びの場合は4年程、昼夜の学びの場合は2年程で修了]
  - ベーシックコース [教会奉仕に必要な基礎の学び/毎週金曜10時～2時の学びで2年]
  - 牧師夫人講座 [牧師や宣教師夫人だけのため/隔週の金曜10時～2時の学びで2年]
  - アドヴァンスコース [牧師や神学塾の卒業生のため/毎月一度月曜日の学び1年単位]
- \*入塾願書をご希望の方は郵便で当塾へ〔返信用切手94円同封で〕ご請求下さい。

「東海聖書神学塾」のホームページからダウンロードしていただくこともできます

- 当塾は、教会から推薦された献身者のみを受け入れる方針を堅持しておりますので、入塾希望者は必ず所属教会の牧師の指導を受けると共に、教会役員会で召命と献身を確認して頂き、教会全体の支援を受けて入塾できるように準備してください。

- 2021年度の入塾説明会は 2021年1月15日(金) 2時と5時半から  
同 入塾願書の締め切りは 2021年2月12日(金) (必着)  
同 入塾試験(筆記・面接)は 2021年3月5日(金) 1時～(全員)

〒460-0022 名古屋市中区金山2-1-3 金山クリスチャンセンター3階 TEL&Fax052-321-7516

E-mail tokai.seisyo.singakujuku@gmail.com http://tts.jp.org

# 「東海聖書神学塾の基本理念」と「オンライン受講（生）」

## 序：「東海聖書神学塾」の基本理念と方針

東海聖書神学塾は1985年、「東海地区」の福音宣教と教会形成の前進のために、聖書信仰に立つ諸教会と協力して、教会から送られて来る献身者に、誤りのない神のみ言葉である「聖書と福音主義神学」を教え教会奉仕の訓練をし、教師と少人数の塾生との人格的交わり（「塾」のイメージ）を通して教会奉仕者を育成する、超教派の教会教育機関としてスタートしました。

- ① **「東海」**＝教会の主イエス・キリストの摂理的導きの中で、「東海聖書神学塾」は、「東海地区（愛知、岐阜、三重、静岡西部）」の福音伝道と教会形成に奉仕するために創塾されました。しかし、岐阜県北部（飛騨）、三重県南部（南勢）、静岡県西部（遠州）からの塾生は、遠隔地で通塾が困難等という理由（推測）で、35年の間に数名しかいません。しかし、これらの地域にある諸教会から献身者（教会奉仕者）を「オンライン受講生」として受け入れることによって神学塾が名実ともに「『東海』聖書神学塾」になると教会の主から心から感謝しています。神学塾の運営委員会は、距離的理由（住居や職場が遠隔地）だけでなく、身体的理由（障害、高齢等）、家庭的理由（乳幼児や要介護家族等）等で通塾が困難な献身者（教会奉仕者）を、所属教会（牧師先生と教会役員会）がオンライン受講生として入塾させてほしいと要望されれば、喜んで受け入れます。（在塾生がオンライン受講をする場合も同様です）
- ② **「聖書と神学」**＝「東海『聖書神学』塾」は今後も、教会と協力して献身者（教会奉仕者）を育成する超教派の教会教育機関として、塾生たちに誤りのない神のみ言葉である聖書と福音主義神学を教え続けます。また、塾生たちは神学塾（類比的に教会）の運営委員会（類比的に教会役員会）の指導に従って、礼拝（毎週のチャペルとクリスマス礼拝等）、祈り（塾生祈祷会等）、伝道（夏期教会実習等）、教育（リトリートやCS教師研修会や公開講座等）、交わり（リトリートや愛餐会等）、塾舎（類比的に教会堂）管理、（塾生会の）書記と会計等の奉仕を、他の塾生たち（類比的に教会員）と十分に協議し、分担し、協力し、共に祈りつつ、忠実また熱心に行うことを通して、教会奉仕者として訓練され成長していきます。しかし、オンライン受講生は、塾舎での教会奉仕の訓練が受けられませんので、ぜひ、塾生の所属教会での牧師先生による教導と奉仕の訓練を十分にしてくださいませようをお願い致します。
- ③ **「塾」**＝創塾した時、名称を「東海聖書神学校」でなく「東海聖書神学『塾』」としたのは、寮（共同）生活はしないけれども、塾舎に集って、教師と塾生が、少人数のクラスで人格的な交わりと建徳的な議論をし、共に礼拝し、共に祈り、共に神の恵みを分かち合う交わりをすることによって、献身者・教会奉仕者として成長していくことを目指したからです。そういう訳ですから、塾生会の塾舎（名古屋市金山）での活動（奉仕訓練）に参加できない「オンライン受講生」にも、オンラインでクラスだけでなくチャペルと祈祷会にも参加して頂きます（2020年度は「ZOOM」アプリを利用）。また、塾舎でのクリスマス礼拝、奉仕を要望される教会での夏期教会実習（3泊4日）、各学期に2回あるリトリート（1泊2日と1日）CS教師研修会、公開講座等にも必ず参加して頂きます。